

## ねりまの農業改訂版 ページ構成案

ページ	インデックス	掲載項目	ねらい・掲載情報 ※伝えたい内容
表紙		目次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次</li> <li>・電子ブック版の紹介</li> </ul>
P. 1-2	導入	プロローグ	<p><b>導入1 「冊子の発行目的や使い方を説明する」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行目的・冊子の読み方を掲載</li> </ul>
P. 3-6	案内	<p>練馬の都市農業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントカレンダー（次ページ以降に繋げる）</li> <li>・アプリ「とれたてねりま」</li> </ul>	<p><b>導入2 「区内農業の概要、特徴、魅力を端的に紹介する」</b></p> <p><b>・次ページ以降で掲載する内容を「買う」「体験する」「知る・学ぶ」ごとに簡単に紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業関係イベントの開催時期をまとめたイベントカレンダー（イベント情報はインデックスごとに分類）</li> <li>・アプリの機能と特徴を紹介（アプリダウンロード用のQRコードも掲載）</li> </ul> <p>機能：直売所や地産地消に取り組む店舗情報や収穫体験等の情報等、区内の農に関する情報を一元的に発信</p> <p>特徴：区役所だけではなく、農業者自身が情報を発信するので、個別農業者の人柄に触れることもできる。</p>
P. 7-8	買う	<p>直売所（庭先直売所・ねり丸直売所・JA直売所・農業祭）</p> <p>※小泉牧場の紹介（コラム的に）</p>	<p><b>○ 「庭先直売所に足を運んでもらい、採れたて農産物の美味しさを知ってもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内農業者の庭先直売所：採れたての農産物を購入できる。</li> <li>・ねり丸直売所：アトリウムに設置しているコインロッカー式直売所。毎日、区内農業者が農産物や加工品を納品している。納品農業者の顔写真付きカードを配架しており、農業者を紹介する拠点でもある。</li> <li>・JA共同直売所：様々な農業者が納品しているので、幅広い農産物を購入できる。</li> <li>・JA農業祭：毎年11月に開催。練馬大根をはじめとした区内各地の特産品が購入できる。</li> <li>・小泉牧場：23区唯一の牧場。令和6年度から小泉牧場産の牛乳でこだわりのミルクを製造。牧場で購入できる。</li> </ul>
P. 9-10	買う	マルシェ（ねりマルシェ・区役所マルシェ・各地のマルシェ）	<p><b>○ 「美味しい農産物を作った農業者と会話しながら直接購入する楽しさを知ってもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マルシェとは」の説明</li> <li>・ねりマルシェ：区内マルシェ団体が年に1回集結する大規模マルシェ</li> <li>・区役所マルシェ：区役所1回で定期的に開催しているマルシェ。個々のマルシェ団体が出店。</li> <li>・各地のマルシェ：個々のマルシェ団体が各地の公園等で開催。収穫体験を同時開催するなど工夫を凝らしたマルシェも開催されている。</li> </ul>
P. 11-12	特集	練馬大根（練馬大根の紹介、購入できる場所の紹介、引っこ抜き競技大会・漬物物産展）	<p><b>特集記事（ちょっとひと息）「練馬大根を通して、江戸から続く『練馬の農の伝統』への理解を深める」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬大根の特徴と歴史</li> <li>・練馬大根を購入できる場所（JA農業祭、JA共同直売所）</li> <li>・練馬大根の沢庵漬けを購入できる場所（ねりま漬物物産展、組合のネット販売、JA共同直売所）</li> <li>・練馬大根引っこ抜き競技大会：区とJAの共催。開催の経緯や目的（大根の給食食材としての活用）を紹介</li> <li>・伝来種保存事業：事業目的、区立小中学校への教材用としての練馬大根種子配布等について</li> </ul>
P. 13-14	体験する	練馬果樹あるファーム ねりまベジかるファーム	<p><b>○ 「畑に出かけてもらい、収穫の楽しさを知ってもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベジかる、果樹あるの事業概要・・・果樹や野菜の収穫の楽しみを紹介する。</li> <li>・詳細については、事業紹介冊子に誘導（電子ブックのQRコード）</li> </ul>
P. 15-16	体験する	区民農園 農業体験農園 ※見開きで掲載（農園の違いを見比べられるように）	<p><b>○ 「自分で農産物を作る喜びを知ってもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各農園の基本情報：利用期間、利用資格、利用料金、指導者の有無、農園数等</li> </ul>

ページ	インデックス	掲載項目	ねらい・掲載情報 ※伝えたい内容
P. 17-18	特集	高松みらいのはたけ 農の学校	<p><b>特集記事（ちょっとひと息）「区の農業施設を紹介し、足を運んでもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の基本情報：場所、開園時間、休園日等</li> <li>高松みらいのはたけ：「区民とともに農の風景を守り育てる」をコンセプトとする区立の農園。栽培体験事業や練馬大根っこ抜き競技大会等を実施。</li> <li>農の学校：区内農業の支え手を育成することを主な目的とする施設。初級、中級、上級のコースの3コースがあり、初級コースを修了すると、援農ボランティア「ねりま農サポーター」として区が認定、農業者の畑で援農ボランティアとして活躍。練馬大根をはじめとする江戸東京野菜について学ぶコースや、ファミリー層を対象とした収穫体験事業も実施。</li> </ul>
P. 19-20	知る・学ぶ	食育（学校給食・ちゃんとごはん） 小学校との連携事業（まるごと練馬大根・水田事業）	<p><b>○ 「農作業のその先へ～消費のあり方を考える～ 地産地消の大切さを理解してもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食での地産地消の取組を紹介</li> <li>高松みらいのはたけを使用したちゃんとごはんプロジェクトの紹介</li> <li>練馬大根について学べる小学校3年生用の副教材の紹介</li> <li>橋戸水田事業の紹介</li> </ul>
P. 21-22	知る・学ぶ	農業委員会 都市農地保全推進自治体協議会 農地の多面的機能の紹介 農の風景育成地区制度	<p><b>○ 「マニアックな段階・・・農を巡る法制度、行政の仕組み、農地保全について学んでもらう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会：組織概要、農地保全の取組等</li> <li>都市農地保全推進自治体協議会：組織概要、取組と成果</li> <li>都市農業・農地の多面的機能を8つ（①農産物供給、②レクリエーション・コミュニティ、③観光、④環境保全、⑤景観形成・歴史文化伝承、⑥防災、⑦教育、⑧福祉・保健）紹介</li> <li>高松、南大泉農の風景育成地区：区内でも特に農地や樹林地、屋敷林等が集積しているエリアとして、都に指定されている。各地区では、地区の特徴を生かした農的イベントが実施されている。</li> </ul>
P. 23-24	特集	全国都市農業フェスティバル・世界都市農業サミット	<p><b>特集記事（締めくくりの記事）「全国をリードする都市農業のまち、ねりま」</b></p> <p>＜イベントの概要と経過＞</p> <p>全国都市農業フェスティバル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市農業の魅力と可能性を広く発信し、農業者の意欲向上や区民の理解促進を図る。</li> <li>令和5年度に初開催し、次回は令和7年度に実施した。</li> </ul> <p>世界都市農業サミット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練馬の都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、参加都市が相互に学び、更に都市農業を発展させていくため、令和元年度に世界都市農業サミットを開催。</li> <li>現在は、サミット参加都市である5都市（ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロント）とメーリングリストを活用した交流を継続している。</li> </ul>
P. 25-28	特集	統計 味わいカレンダー	<p><b>統計「区内農業の基礎データを提示する」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内農地面積、区内主要農産物の作付け面積、区内農産物の販売形態、区内農家戸数等の統計情報（グラフ）</li> <li>区内農産物の収穫・販売時期をまとめたカレンダー</li> </ul>
裏表紙			

※ 気軽に農にふれあうことのできる内容から順番に記載（買う→体験する→知る）

※ 関連する事業は見開きで配置し、見比べやすくなるように掲載する。

※ 2ページ分（改定案：32ページ）の余裕を持たせている（冊子は4ページ刻みになるため、32ページにする必要がある）。